

◆ “ふるさとちば”のための政策推進を◆



# いまい 今井まさる県議会リポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 待機児童解消へ

### 9月県議会一般質問 我孫子市特集

うと、保育環境の充実に力を注いでいる今井勝県議（我孫子市選出、2期）は9月県議会で一般質問に立ち、森田知事や県担当者に県の施策や方針を質しました。今井県議は、待機児童を解消するには県に

未来を担う子どもたちの健やかな成長を実現しようと、保育所整備促進事業の継続を強く求めました。このほか、森田知事が参画した政府主催会議について聞き、県の国際交流や観光立県に生かしてほしいと要望しました。今井



9月県議会一般質問で登壇、県の施策を質す今井勝県議

今井議員 千葉県においては千葉県総合計画案「新輝け！ちば元気プラン」で

も述べている通り、県内の保育所の整備は平成24年度までの4年間で約7600人の定員増を行なったところだが、平成25年4月1日現在で1340人の待機児童がおり、対応に苦慮していると思う。

大変厳しい県財政とは思いうが、千葉県においても早期に待機児童を解消できる

よう、保育所整備に対する県の単独補助である「保育所整備促進事業」を継続していただきたいが、県はどう考へておられるのか。

健康福祉部長 本県では、国の交付金による「安心こども基金」を活用して民間保育所の施設整備に対しても、定員増補助するとともに、定員増を伴う整備に対しては、県独自の上乗せ補助を行い、設置者の負担軽減を図つておられます。

この保育単価の設定につ

ては、千葉県においては千葉県総合計画案「新輝け！ちば元気プラン」で

も述べている通り、県内の保育所の整備は平成24年度までの4年間で約7600人の定員増を行なったところだが、平成25年4月1日現在で1340人の待機児童がおり、対応に苦慮していると思う。

大変厳しい県財政とは思いうが、千葉県においても早

く、待機児童を解消するには

よる上乗せ補助が欠かせないと、保育所整備促進事業の継続を強く求めました。このほか、森田知事が参画した政府主催会議について聞き、県の国際交流や観光立県に生かしてほしいと要望しました。今井

県議の質疑と県の応答を特集します。

## 保育所促進事業の継続を

未来を担う子どもたちの健やかな成長を実現しようと、保育環境の充実に力を注いでいる今井勝県議（我孫子市選出、2期）は9月県議会で一般質問に立ち、森田知事や県担当者に県の施策や方針を質しました。今井県議は、待機児童を解消するには県に

よる上乗せ補助が欠かせないと、保育所整備促進事業の継続を強く求めました。このほか、森田知事が参画した政府主催会議について聞き、県の国際交流や観光立県に生かしてほしいと要望しました。今井

県として、国の動向を注視しつつ、保育の実施主体を見直す方向で検討されております。

県としては、国の動向を注視しつつ、保育の実施主体を見直す方向で検討されております。

市町村間で著しい格差がある市町村ともに、格差による保育所運営に対する影響等の問題点を整理してまいりたいと考えております。

今井議員 市町村の困難な状況を理解し、保育単価の見直しについて国への要望をぜひお願ひいたします。

### 今井まさる・PROFILE

#### □ 略歴 □

- 昭和23年 1月 我孫子市生まれ。湖北小、湖北中、柏日体高卒
- 昭和41年 4月 千葉日産入社→退社
- 昭和43年 4月 今井タクシー入社→会長
- 平成11年11月 我孫子市議会議員初当選(2期連続当選)
- 平成17年 4月 県議会議員補選337票差で次点
- 平成19年 4月 県議会議員初当選(2期連続当選)

#### □ 現職 □

- 県議会 県土整備常任委員会委員
- 自民党 総務会常任総務
- 自民党県連 組織本部委員
- 議員連盟 私学振興、動物愛護、商工、靖国神社、地域医療、幼児教育、保育所、医療、調理師、宅地建物等、介護、防衛、資源リサイクル、看護、ハツダム、カジノ、環境保全

今井議員 市川

要望 市・松戸市・船橋市・柏市などが抱えている待機児童を解消するためには県独自の上乗せ補助継続が必要です。

今井議員 保育単価につ

めひとも設置者の負担軽減が図れるよう要望する。

平成25年11月1日(金曜日)

## 今井まさる県議会リポート

## 政府主催2会議に参画

## 「トップセールスに生かす」

森田知事

今井議員 知事は本年4月より、訪日外国人旅行者数の増加など観光立国の実現に向けた施策を議論する「観光立国推進有識者会議」と、日本とアジアとの文化交流を議論する「アジア文化交流懇談会」の2つの政府主催会議に参画している。

観光立国推進有識者会議



県議会場の自席で再質問をする今井勝県議

では、全日空ホールディングスの伊東社長や楽天の三木谷会長などそうそつたる顔ぶれの委員の中でも、森田知事は地方公共団体の長としてまた政治家としてただひとりの委員である。

知事がこのような政府主催会議に直接関わり、有識者である委員の方々と議論を深め、国に対して直接提言を行なうことは、本県にとって大変意義深いことであり、ぜひ、今後、本県の国際交流や観光立県に生かしていただきたい。

そこでうかがうが、アジア文化交流懇談会及び観光立国推進有識者会議において、知事はどのような発言をしてきたのか。

知事 私は、委員の中で

盛んにすることが重要であり、そのためにも、地方に対する支援措置の充実を図っていただきたいこと、また、特に海外の人々が日本に対する関心を高め、日本に親近感を持つもらうためのきっかけとして、世界的にも評価の高い日本のアニメをもつと活用すべきということを申し上げました。

さらに、外国人観光客を増やすために、例えば千葉県では、旅番組を制作し、現地テレビ局で放送することを考えていますが、こうした地方の取組に対し、国においては、是非、その放送枠の確保をお願いしたいと提案をいたしました。

アジア文化交流懇談会で

は、去る9月30日に最終的

な提言を安倍総理大臣に提出いたしましたが、その際に、私からは、世界の若者

の確保などの交差点改良事

業が必要と考えるがどうか。

Rしていただき、文化交流や観光振興など経済の活性化につながるよう、是非、頑張っていただきたい。

健康福祉部長 柏児童相

談所に限らず、県内全児童

所に対し、当該調査結果を周知したところであり、今後児童相談所と病院との連携強化を図つてまいります。

本年5月の千葉県保健医療計画の改定に当たつては、県内全ての病院に対し調査したところ、全県で45病院において、児童精神科治療を行つてあるとの回答があつたところです。

そこで、県内全児童相

談所において、精神科の入院診療等が必要な要保護児童等に関する相談に對して、できる限り身近な病院

で、できる限り身近な病院

で